



歩行器のご紹介

歩行器で
外出ラクラク



相談内容

78歳の男性ですが、年々足腰が弱くなり、外に出るのがおっくうです。

「歩行器」という福祉用具があると聽きましたが、どういうものか教えてください。

相談処理内容

高齢になると、足腰が弱まるのはごく自然なことです。

そのため、休みながらでないと長く歩けなかったり、荷物を持って歩くのがきつくなります。しかし、外に出て気持ちをリフレッシュさせることができます。そのため歩行器があります。

今回は、福祉機器展示センターに展示している、外出時の歩行を補助する歩行器をご紹介します。

歩行器とは

本来は、歩行の自立を支援する歩行訓練用の用具で、主に室内で使用されています。車輪の付いたものは歩行車といいますが、最近は外出したときの歩行を補助する歩行補助車が歩行器のほとんどを占めています。

シルバーカーやショッピングカーも歩行器の一種ですが、杖とは次のような点が異なります。

- ①支持面が広く、より安定している。
- ②腰掛けて座れる座面が付いている。
- ③荷物を収納できる収納ボックスが付いている。

なお、これらの歩行補助車は自立歩行が困難な方の使用には不適当で、自立歩行が可能な高齢者が外出するときの歩行を補助する福祉用具です。

自立歩行が困難な場合には、車椅子の利用も考えられますが、なによりも訓練専用の歩行器により自立歩行を可能にすることが先決ではないでしょうか。

1 ヘルスバッグAR-238

- ・ショッピングカーと歩行補助車を一体化
- ・ワンタッチでコンパクト
- ・肘置きを倒せば背もたれに
- ・杖・傘立て付き
- ・総重量 8.9kg
- 価格 24,990円



2 キャリーステッキライト168

- ・杖に車輪とバッグの付いた補助車
 - ・総重量2.1kg片手でスイスイ
 - ・把手付きで持ち運びが便利
 - ・杖・傘立て付き
 - ・前に傾けると杖としても使用可能
- 価格 17,640円



3 ピウプレスト75

- ・大きな車輪で歩行練習をサポート
- ・折りたたむとコンパクト
- ・ハンドルの高さは6段階調節可能
- ・レンタルは介護保険の適用対象
- ・杖・傘立て付き
- 価格 45,800円



4 ライトミニグランデW

- ・本体重量3.7kgと軽くて小さい
 - ・レバーを持ち上げると椅子に早変わり
 - ・バッグの収容量が2倍にアップ
 - ・ワンタッチでコンパクトに
 - ・杖・傘立て付き
- 価格 20,790円



介護保険の適用

福祉用具の購入や貸与において介護保険の適用を受けると、費用の1割が自己負担で、9割は介護保険で支払われます。歩行器の貸与も例外ではありませんが、すべてには適用されません。使用者が介護保険の認定を受けていることは勿論ですが、当該歩行器に歩行訓練機能があるかどうかが適用基準のようです。今回の紹介した福祉用具で適用されるのは、3番（ピウプレスト75）のみです。

歩行器に関するお問い合わせ先

福祉機器展示相談センター
鹿児島市鴨池新町1-7

TEL
099-253-1294